

「新聞は情報の基盤」

静岡理工科大生、活用法学ぶ



「新聞を読む」の講義で、興味を持った記事などについて議論する大学生ら。袋井市豊沢の静岡理工科大で

NIE
教育に新聞を

袋井市豊沢の静岡理工科大のキャリア開発講座「新聞を読む」が十四日開かれ、一年生約三百人が情報収集のための新聞活用法を学んだ。

企業の人材開発教育などに詳しい山田頼二

氏ら二人が講師を務めた。山田氏は「新聞は

情報の基盤だ」と強調。就職試験の時事問

題対策としても役立つ

として、「どんな会社の社長でも新聞は読んでいる。(新聞を通して、企業トップらと)情報を共有することはとても大事なことだ」と語った。

その上で学生らは、政治や経済、国際、社会、地域の問題について、当日の中日新聞から

ら関心を持った記事それぞれ選択。四、五人のグループに分かれ、東京都知事の政治資金流用問題や、英国の欧州連合(EU)離脱問題など、選んだ記事について関心を持った理由を発表。記事の伝える内容について、自分の考えをまとめて議論した。(池田実)

桜井さんら1位

浜北区で将棋大会
5クラス110人対局

日本将棋連盟浜北支部の中日新聞東海本社賞獲得戦が、浜松市浜北区の市浜北文化センターで開かれた。

県内と愛知県から計約百十人が出場。四段以上のS、三〜初段のA、一〜三級のB、四〜六級のC、七級以下のDの五クラスに分かれて対局した。

(宮沢輝明)

上位は次の皆さん。

Sクラス ①桜井秀幸